

教育目標：ともに伸び あしたを創る

令和7年9月



三和小だより

三和小学校
ホームページ



第1回クラブ活動の様子です



地域の方からもご指導をいただき、充実した活動ができています。

ウェルビーングを目指して

校長 堀川 邦夫

2学期がスタートしました。まだまだ暑い日も続くようです。子どもたちの安全を最優先にした教育活動に取り組んでまいります。何卒ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、9月3日には、朝からの豪雨の登校対応にご協力いただきありがとうございました。駐車場での混雑はありましたが、保護者の皆様が譲り合いの気持ちで行動していただいたおかげで、事故なく登校を完了できました。今後も、悪天候で登下校が困難になる恐れがある場合、できるだけ早くおたよりシステムでご支援のお願いをさせていただきます。

道路の横断の補助をしているところ、保護者の方から、「校長先生、ずぶぬれになってありがとうございます」と声をかけていただき、心が温くなりました。言葉の素晴らしさを実感した一場面です。

2学期の始業式には、子どもたちに夏休み中に研修を受けた「ウェルビーング」について話をしました。ウェルビーングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態」のことで、幸せややりがいを感じるのだそうです。研修の中で学んだウェルビーングになる行動として、「笑顔の表情」「胸を張る姿勢」「前向きな言葉を遣う（『でも』『だって』などのマイナスな言葉は遣わない）」が大切なことを子どもたちに知らせ、「みんなで幸せになっていきましょう」と話しました。私も意識していきます。

三和小学校の職員もウェルビーングになってほしいと思っていたところ、夏休みに三和小学校に来校し、職員研修の指導をしていただいた上越教育大学の先生から、「先生方の雰囲気がよく、なんでも話せる関係ですね」とお話していただきました。ウェルビーングな職場になっているからでしょうか。今後も学校全体が幸せややりがいを感じられるようにしていきます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

1 学期末 学校評価アンケートの結果をお知らせします

7月に保護者の皆様からご協力いただいた学校評価アンケート及び、児童アンケートの結果をお知らせします。夏季休業中に全教職員で、課題の洗い出しと改善のための検討を職員で話し合い、よりよい三和小学校（生活面、学力面、健康面）に向けて方策を決めていきました。今後とも、ご意見等がありましたら、ご連絡をお願いいたします。

R 7 学校評価保護者アンケート結果

質 問 項 目	肯定的評価
1 お子さんは、学校へ行くことを楽しみにしている。	92.8%
2 お子さんは、学習したことが「わかる」「できる」「楽しい」と言っている。	80.8%
3 お子さんは家庭学習の習慣が身に付いている。	74.2%
4 お子さんは、家庭や地域であいさつやお礼をいうことができています。	85.6%
5 お子さんは、場や人に合った正しい言葉遣いをしている。	76.7%
6 家庭で、いじめや差別が許されないことを話題にしている。	90.4%
7 お子さんは、家庭や地域で、運動したり体を動かして遊んだりしている。	83.2%
8 お子さんは、家庭で決めた「メディアのルール」を守ろうとしている。	62.9%
9 お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣が身に付いている。	83.2%
10 学校は、家庭や地域と協力して、子どもたちの安全確保に努めている。（登下校・不審者対策・災害への対応等）	88.1%
11 学校は、便りやホームページ等で子どもたちの様子や学校の方針について、適切に知らせている。	93.0%
12 学校は、お子さんの悩みや相談に対して親身に対応し、子どもたちのより良い人間関係づくりに取り組んでいる。	86.9%
13 学校は地域のよさ（人・もの・文化）や専門機関（市・区・外部講師）を活用し、教委活動や子どもたちの心身の成長を図るよう努めている。	92.3%

○自由記述について

アンケートでは、保護者の皆様から自由記述でのご意見もいただき、ありがとうございました。

全校に関わる内容について、対応等をお知らせいたします。

- ・高温の中、徒歩での登下校についてのご意見をいただいております。バス通学に関する保護者のお考えとして、三和区総合事務所に記述内容を伝えさせていただきました。バス通学の範囲が広がるよう、今後も継続して要望していきます。また、保冷グッズを下校時まで冷やす取組は、2学期も継続して行います。
- ・駐車場について、ご不便をおかけし申し訳ございません。他の学校も同様ですが、1家庭1台の駐車スペースを確保することが困難な実態です。学習発表会等、休日の駐車場は近隣の企業様にもご協力をいただき、体育大会と同じスペースを確保したいと思いますが、それでも十分ではありません。学習参観等でのご来校では、できるだけ、自動車以外の移動や相乗り等にご協力いただきますようお願いいたします。また、降積雪期となる2月の学習参観は上学年、下学年で日にちを分けて実施することも検討しております。決まり次第お知らせいたします。

- ・おたよりについてのご意見もいただきありがとうございました。今後も学校の情報をおたよりだけでなく、校支援システムやホームページなどを活用してお知らせいたします。特に、感染症の流行など、できるだけ早く保護者の皆様にお伝えできるようにしていきます。

R7 1 学期末 児童アンケート結果

質 問 項 目	肯定的評価
1 学校に来るのが楽しい。	94. 3%
2 自分の考えを絵や文章で表したり、発表したりしている。	83. 5%
3 話合いや班活動に積極的に取り組んでいる。	93. 3%
4 家庭学習（学年×10分以上）に毎日取り組み、課題を期限までに出している。	91. 3%
5 「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」を心を込めて伝えている。	97. 4%
6 丁寧な言葉で話したり、『さん』をつけて、友達を呼んでいる。	83. 5%
7 友達の行動や考えのよさを見付けている。	94. 4%
8 友達にふわふわ言葉を使ったり、ふわふわ行動をしたりして、仲よくしようとしている。	95. 4%
9 体を動かすことが好きだ。	91. 2%
10 自分のめあてをもって体育の授業に取り組んでいる。	94. 8%
11 家庭で決めた「メディアのルール」を守って生活している。	90. 7%
12 早寝・早起き、朝ご飯など規則正しい生活をしようと心がけている。	93. 2%
13 追いかけてこや急な飛び出しなどしないで、安全に気を付けて登下校している。	98. 3%

児童アンケートの結果では、概ね高い肯定率を達成することができました。その中で、「自分の考えを絵や文で表したり、発表したりしている（83. 5%）」「丁寧な言葉で話したり、『さん』をつけて、友達を呼んでいる（83. 5%）」は90%の肯定率を達成することができませんでした。今後、学習や生活の場面で達成できるように支援していきます。

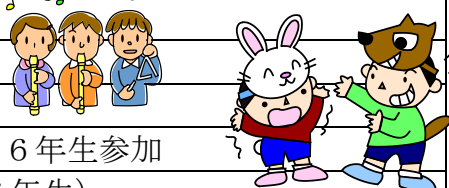
また、「言葉遣い」や「家庭学習」、「メディアのルール」などの項目で、保護者の皆様と児童の肯定率で差が見られました。どの項目も大切な内容です。差の大きい項目について、ご家庭で話題にいただき、どのようなことが大切かを話し合っていただけるとありがたいです。

今回の結果を受け、学校全体では以下のことに取り組んでいきます。

- ・「問いを発見する」「解決方法を見通す」「解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する」「学びを振り返り、次に生かす」という姿を意識した授業づくりと、タブレット端末のさらなる活用。
- ・よいあいさつと丁寧な言葉遣いの具体的な姿を示す。また、全校ソーシャルスキル教育で具体的な言葉や行動を考える場を設定し、自己肯定感を育てていく。
- ・めあてを明確にした体育学習と、ライフマネジメント週間等の取組からメディアとの関わりを自己コントロールできる力の育成。

10月の予定

日（曜）	行事・活動等
1 日（水）	全校集会
2 日（木）	J R C登録式（5 限） 委員会活動（5，6 年生）
6 日（月）	学校訪問カウンセラー来校日
8 日（水）	スクールカウンセラー来校日
9 日（木）	就学時健康診断 12:00～給食 給食後 13:10 全校下校（バス 13:15 予定）
10 日（金）	P T A奉仕作業・ワックスがけ（教室）
16 日（木）	委員会活動（5，6 年生）
20 日（月）	学校訪問カウンセラー来校日
22 日（水）	図書ボランティアさん 読み聞かせ 3 年 学習発表会リハーサル 3・4 限
23 日（木）	クラブ活動（4～6 年生）
25 日（土）	三和小学校開校記念学習発表会（午前）
27 日（月）	学習発表会の振替休日
29 日（水）	同和教育講演会 10:45～11:45(三和中) * 5，6 年生参加
30 日（木）	秋の歯科検診 13:30～ クラブ活動（4～6 年生）



三和中学校区は人権教育、同和教育を推進します

～『現地学習会と新潟県の人権課題を学ぶ研修会』の紹介～

三和中学校区では、今年度も同和教育研究指定地区制度（第3次）推進事業の指定を受け「三和中学校区同和教育推進協議会」を設定し、児童生徒一人一人に鋭い人権感覚を育む教育に全職員で取り組んでいます。

8月7日には、小中合同の研修会を実施しました。その様子を紹介いたします。

白山会館での現地学習会では、講師の方のお話から、差別を受けた人々の辛い思いを知り、差別根絶のために教育が担う重要な役割について再確認しました。講師の方からの「差別をなくすために、本気になって子どもたちに教えてほしい」という力強い激励をいただき、参加者全員が身の引き締まる思いでした。

午後からは、三和小学校を会場として、新潟県教育庁義務教育課指導主事様と三和小学校学校運営協議委員様をお招きして、新潟県の人権課題についての学びを深めました。講師の方からは、新潟県の教職員調査の結果から、人権教育、同和教育を全校体制で推進していくためには、指導に自信のない若年層の職員をベテラン職員が支援できるような研修体制の大切さなどを指導していただきました。また、同和問題をはじめ様々な人権課題について、ご自分が体験された具体例を基に分かりやすく指導していただきました。

今回、講師の皆様が共通してご指導いただいたことは、「インターネットによる人権侵害」です。児童生徒がインターネットの情報をうのみにせず、正しい情報を知り人権を尊重するために、情報モラル教育の大切さを再認識しました。今後も小中で連携し、人権教育、同和教育を推進していきます。

